

# 第四次長野県環境基本計画について

資料 2

環境政策課

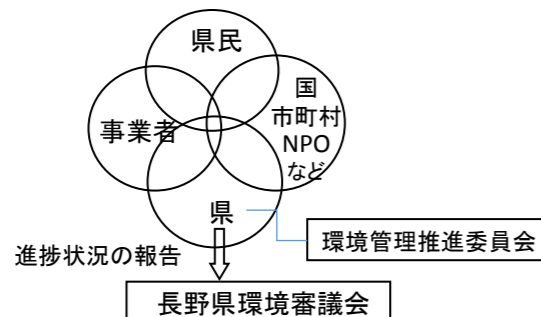
## 第1章 計画の基本的考え方

- 1 計画策定の趣旨**  
長野県環境基本条例第8条の規定により、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために策定する。
- 2 計画期間** 平成30年度から平成34年度までの5年間

## 第2章 現状と課題

- 1 持続可能な社会**  
○2015年9月「持続可能な開発目標(SDGs)」が国連総会で採択  
○持続可能な社会づくりの担い手を育成するためESDを推進する必要がある。  
○行政、県民、事業者、NPOなど、あらゆる主体の参加と連携により、環境保全活動を幅広く推進する必要がある。
- 2 地球温暖化・環境エネルギー**  
○2016年11月に、温室効果ガス排出量を今世紀後半に実質ゼロに抑えることを目標とした「パリ協定」が発効  
○本県の平成25年度温室効果ガス排出量は1,542万t-CO<sub>2</sub>で、基準年である平成2年度比0.8%とほぼ横ばい。家庭部門・業務部門で、大幅に増加しており、特に、既存建築物の省エネを中心に排出抑制が求められている。  
○自然エネルギー発電の導入について、環境影響の少ない屋根置き太陽光発電や太陽光以外の種別の導入が進んでいない。
- 3 廃棄物の削減・適正処理**  
○2年連続で一般廃棄物の「ごみ減量日本一」となるなど大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会から、環境への負荷をできる限り低減する社会に転換してきているが、産業廃棄物を含め、発生・排出抑制やエネルギー回収を一層進める必要がある。
- 4 水環境**  
○水源の保全と涵養、水質と水量の確保、地下水の保全と活用、生態系の保全など、水循環の課題の解決には関係する主体がそれぞれの役割を認識・共有して取り組んでいくことが求められている。
- 5 大気環境・化学物質等**  
○大気環境は概ね良好な状況が続いているが、PM2.5や水銀などは県や国を越えた広域的な連携による削減対策が必要になっている。放射能対策については、引き続きモニタリング等を実施していく必要がある。
- 6 自然環境・生物多様性**  
○開発、里山の放置、外来生物、温暖化の影響により、希少種を始め本県の豊かな生物多様性が脅かされているため、希少種の生息・生育環境を保全するとともに、自然資源の持続可能な利用の推進に取り組んでいく必要がある。  
○山岳観光の推進の観点から、登山者の急増や多様化に対応するため、登山道等の整備を推進する必要がある。

## 第5章 計画の推進体制等



## 第3章 長野県の将来像 (概ね20年後)

### 持続可能な社会づくり

- ※(例)
- ・SDGs
- ・ESD
- ・新しいライフスタイル
- ・海外との連携、自治体との連携

### 脱炭素社会の構築

- ・エネルギー需要の県民の手によるマネジメント
- ・再生可能エネルギーの利用と供給の拡大
- ・総合的な地球温暖化対策の推進

### 循環型社会の形成

- ・サーキュラーエコノミー
- ・食品ロス

### 水環境の保全

- ・泳げる諏訪湖

### 大気環境の保全

- ・大気環境等の保全
- ・化学物質対策

### 自然環境の保全

- ・自然の活用
- ・森里川海
- ・垂直ゾーニング

## 第4章 計画期間中の目標と実施施策

基本テーマ ※「持続可能」「パートナーシップ」「SDGs」

- ESDによる担い手の育成 ※
- パートナーシップの推進

- エネルギー需要の県民の手によるマネジメント
- 再生可能エネルギーの利用と供給の拡大
- 総合的な地球温暖化対策の推進

- 廃棄物の発生抑制と再資源化
- 廃棄物の適正処理の推進

- 流域の健全な水循環の保全
- 河川・湖沼・地下水等の水質保全
- 水辺環境の保全

- 大気環境等の保全
- 化学物質対策

- 多様な自然環境の保全
- 豊かな自然とのふれあいの確保
- 森林や農山村の多面的機能の発揮

「施策項目」を記載

## 「環境」を活かした施策の推進

※(例)

- 【環境×経済】
  - ・環境エネルギー分野の産業化
  - ・まちづくり (パークアンドライド、トランジットモール)
  - ・シェア(自転車など)

- 【環境×経済】
  - ・都市鉱山
  - ・食品リサイクルループ
- 【環境×社会】
  - ・フードバンク

- 【環境×経済】
  - ・諏訪湖を活かした地域活性化

- 【環境×経済】
  - ・星空観光

- 【環境×経済】
  - ・山岳観光
- 【環境×社会】
  - ・信州やまほいく
  - ・発達障害児向け教育プログラム
  - ・森林セラピー